# 6-⑨ いかにして正しい行為をなすか

くいかにして正しい行為をなすか>

ふと正気に返って、正直に見詰めると、人は自分自身をどうしてよいかまったく五里霧中なのだと気づく。まことに辛い状況である。何かをしたいと熱情が湧いてきているのに、その何かがなんであるかがすとしも分らない

このミステリーを解くためには、行為というものの移教的な意味合いを把握しなければならない。

この意味での行為とそ唯一の恩恵にみちた行為である。秘教的な意味での行為は、歪んだ願望とエゴイスティックな野心から発生する有害な行為とはまったく違ったものだ。

あなたの為さねばならぬことはただ、あらゆるものを、あなたのために為されるままに委せるというととである1！とのことが分ったとき、あなたは物事の本質に迫る至高の洞察を遂げたことになる。その自己中心約な自己

もしあなたがなにかをすれば、間違いをしでかす。もしあなたがなにもしないなら、ただひたすらにあなたの内的生をいて、エコの干渉なしに、起こるに委せるならば、けっして間違いは犯さない。

これはあなたにとって価値あるなにものかを放棄する意味ではない。これは真の価値をみいだす意味だ。人間のもつ密かなる恐怖は、多くのことが彼には起こるけれどもリアルなものはなにひとつ起こらないということなの

人々が繰りかえし繰りかえし、間違った行為で苦しみながら、なおそれを問題にしないとはなんと不思議なことであろうか！物理的な外部世界では、われわれは充分に実際的である。ディナーの味が落ちていたら、あるいは

なにかが間違っていると感づくだけで充分である。われわれはなにかが間違っていると知っている。正しい行為を始めるには、相も変らぬパニックや倦怠感に飽きてこなければならない。充分イヤ気がさしてこなければなら

内的前進への正しい行為をプランすることはいらない。あなたが正しいと思いこんでいる間違った行為をやめるだけでいい。そうすれば、条件づけられた思考を伴わない行為！それは常に正しい行為だしへのスペースが塗く

自分はこの人生でどこへも行き着こうとしていないと感じたときは、いつでもすぐに、こう自分自身に問うてみるべきである、「だけどおれはほんとうにどこへ行きたいんだろうか」と。するとあなたはたぶん、表面の心が

あなたが真摯に宇宙的な諸原理を理解しようと努めるとき、あなたは確実に正しい行為をしているのである。

---

Revision #2
Created 27 October 2024 06:09:40 by ゆう
Updated 27 October 2024 06:11:00 by ゆう